

平成29年度「北国の省エネ・新エネ大賞」受賞者・取組概要

【北国の省エネ・新エネ大賞】 1件

◆ 洞爺湖温泉利用協同組合

『地熱資源の活用で地域を豊かに～宝の山プロジェクト始動～』

地熱資源の開発成功を契機に、洞爺湖温泉地域全体で地熱資源の有効利用のために始動した「洞爺湖温泉「宝の山」プロジェクト」の取組。
地熱発電により揚湯ポンプ用の電力を発電するとともに、温泉を加温するエネルギーを削減するなど、地熱水の多段階利用による省エネ・CO₂排出量削減を実現している。
さらに、地熱水を使った新たな地域特産の製造販売、見学ツアーの実施等、地域が一体となって「魅力ある観光地づくり」に取り組み、新エネを活用した地域活性化のモデルケースであり、地熱資源を有効活用しようとする各地域への波及効果も期待できる取組である。

【特別優秀賞】 1件

◆ 北海道札幌市立北翔養護学校

『子どもの健康を守るエネルギー削減プロジェクト』

重度重複障害障がいがある小・中・高校生が通う特別支援学校での省エネプロジェクト。
児童生徒の安全確保や生活環境面での配慮のため、冷房やロードヒーティング等の使用によるエネルギー使用量（環境負荷）が多くなりがちなか、教職員一丸となって、生活環境を維持しながらもエネルギー使用量を削減することに取り組み、生活環境維持と省エネとの両立を実現している。
設備投資によらず、教職員が自ら省エネ手法を考えて実践し、成果を出した事例として光るものがあり、一般の事業所や家庭にも適用出来るモデル事業である。

【有効利用部門】 優秀賞 6件

◆ 株式会社アイワード

『省エネと同時に品質・生産性向上を図り、働き方改革につながるスマートファクトリー化を実現する』

IoTを活用したスマートファクトリー化により、印刷工場において、大きな省エネ成果を出した先進的な取組。省エネのみならず、品質・生産性の向上や労働環境改善による働き方改革にもつながっている。

◆ 株式会社オリエンタルランド

『温泉熱を用いた、イチゴ通年栽培への取組』

弟子屈町内に所在する企業経営型農園において、地域に豊富に賦存する地熱エネルギーと最新技術による複層ビニールハウス、通年栽培可能なイチゴの品種を組み合わせることで、化石燃料の使用を最小限に抑えた環境負荷低減農業を実現した。

◆ 函館エヌ・デー・ケー株式会社

『電子部品製造業におけるフリークーリングシステム及び高効率コンプレッサー導入』

生産設備を稼働するために必要な冷却水を供給するシステムを、自然の外気冷熱を活用するフリークーリングシステムに変更して省エネ成果を出している。エネルギー管理体制を整備した運用により、寒冷地でも凍結することなく稼働できる実績を出した。

平成29年度「北国の省エネ・新エネ大賞」受賞者・取組概要

◆学校法人望洋大谷学園 北海道大谷室蘭高等学校

『北国の気候に適合した環境配慮型校舎による省エネ実現』

校舎建て替えにあたり、建設的な工夫、自然エネルギー利用、設備の高効率化の観点による技術を活用し、厳しい北国の気候に適した高断熱・高気密の環境配慮型の省エネルギー校舎を実現している。

◆マルスイフーズ株式会社

『小規模製造事業所における、エネルギー管理システムの構築と運用』

年間エネルギー使用量が100kI以下（省エネ法の特定事業者指定基準は1500kI以上）の小規模事業所において、見える化の導入等により、複雑な計測・分析をせず、一般社員でもエネルギー管理を行うことができるしくみを構築し、省エネを実現した。

◆株式会社もりもと

『良質なお菓子・パンを作る為のエコでクリーンな現場作りプロジェクト』

社内担当者から経営層へ、省エネの必要性について働きかけたことをきっかけに、全社一丸となって、製造工場と販売店舗における省エネを実現した。省エネはもとより、製品の品質安定化や、衛生的で快適な環境づくりにつながっている。

【開発・製造・普及部門】優秀賞 1件

◆株式会社テスク資材販売 地方独立行政法人北海道立総合研究機構

『排湯利用樹脂製柵状熱交換器とこれを活用した給湯予熱システム』

既存の金属製プレート熱交換器では対応が困難だった、強酸性やスケール分が多い温泉水等に対応できる樹脂製の熱交換器を開発して、温泉排湯の熱エネルギーの有効利用の可能性を広げた。

【啓発部門】優秀賞 1件

◆株式会社アドバコム

『企業・行政・学校・家庭が一体となった持続可能な「省エネ」「新エネ」普及啓発事業』

環境教育の教材や行政の環境情報発信の場にもなる児童向けの環境情報紙「エコチル」の無料配布やイベントの開催等により、省エネ・新エネの普及啓発活動を10年以上継続し、次世代を担う子どもたちの意識の向上に貢献している。